

◎ 広報

かがみし

2011年

4

No.602

東北関東大震災

東北地方太平洋沖地震

マグニチュード9.0 震度6強

平成23年3月11日(金)午後2時46分。東北関東地方を未曾有の大地震と津波が襲い、鏡石町でも震度6強を記録し、町制史上最大級の震災に見舞われました。

町内各所で甚大な被害が発生し、多くの町民の方が被災しました。

今月は、東北関東大震災と名付けられた震災の現在までの様子を特別編成でお伝えします。

地震で崩落した道路(岡ノ内)



▲図書館裏の池の遊歩道が大きく崩落(梨池)



▲町内の各企業や店舗も大きな被害



▲大きく波打つ道路(笠石)



▲避難所では多くの町民が不安を抱え避難生活を送っています(公民館)

東北関東大震災 3月11日当日の記録

午後2時46分	地震発生 震源地宮城県 町議会予算審査特別委員会開会中 沖M9.0
午後3時00分	磐石町地震災害対策本部設置 第1回対策本部開催 各担当部署における被害状況調査、避難所確保のための集会所等の状況確認、消防団との各地域被害状況調査の実施
午後3時12分	倒壊家屋の情報 町内で多数の住宅倒壊を確認
午後3時20分	避難場所指定 一小体育館被害のため、夏瀬所として指定できず、磐石1区集会所ほかを避難所として確保、避難者を誘導
午後3時37分	避難場所指定 磐石防災センターほかを避難所として確保、避難者を誘導
午後4時05分	町上水道断水 防災無線で周知、旭町・旭町浄水場を給水所へ
午後5時00分	第2回災害対策本部 町内全域で避難所を開設 合計20カ所を指定 震災協定により、町内事業所より翌日以降の食料等の確保
午後5時20分	防災無線放送 けが人情報 町民プール監視員ほか
午後6時00分	第3回災害対策本部 避難所における炊き出しにより食料の配布
午後7時00分	第4回災害対策本部 1区集会所の病人のケア
午後8時00分	第5回災害対策本部 各地区民生委員における要援護者安否確認要請
午後9時25分	第6回災害対策本部 停電、駅前地区内
午後9時50分	駅前地区停電 停電 1時間 赤ちゃん用の水、お湯、ポットの確保 町内の地震被害(道路、歩道施設部)の確認と通行の安全確保を指示
午後10時50分	第7回災害対策本部 避難所について(運営方法、物資配給方法など)協議 給水施設の復旧状況について、旭町、旭町、成田各浄水場の被害情報確認、旭町浄水場の被害甚大との報告、復旧まで長期間との見通し
午後11時00分	第8回災害対策本部 避難所対応について、翌日以降の食料、水の確保、応急対策を協議 住民の安全確認、一人暮らしの安全確保、各地区の被害情報の収集を依頼 水道復旧、道路の早期復旧を指示

※以降、磐石町地域防災計画をもとに活動中



▲住宅地にも大きな亀裂が生じ家屋が真っ二つに(不陽沼)



▲JR磐石駅も壊滅的な被害に見舞われた



▲磐石一小の校舎も引き続き使用が困難なほどの被害



▲いち早く支援物資を直接届けていただいた岡山県網野町(友好都市)



▲液状化現象により地面が陥没し、水没した車両(駅前)



▲家が約50Mにわたって滑落(小栗山)



▲地形が変形するほどの約100Mの亀裂(深内)

3月11日発生 東北関東大震災 被害状況

■人的被害
軽症者……………2名

■家屋被害
全壊……………71棟
半壊……………179棟
一部損壊……………1,095棟
(平成23年3月12日調)

先月11日に発生しました東北関東大震災により、磐石町全域がこれまで経験したことのない甚大な被害に見舞われました。

町といたしましても復旧に向け懸命に努力をしておりますが、被害の甚大さから町民の皆様への要求に答えられない部分があり、ご近所の方々や行政区などで助け合いながら、頑張っていたいただいていることに感謝を申し上げます。

また何よりもこの震災で犠牲者が出なかったことに安堵しております。

町では、地震直後に災害対策本部を設置し情報収集を始め、各行政区のご協力のもと町内21カ所の集会所等を家屋の倒壊又は倒壊等の恐れがある住民と福島第一原発事故で避難された方々の避難場所として設けるとともに、道路等の危険箇所の仮復旧を進めました。

町の職員も不眠不休で職務に励んでおりますが、避難所をはじめ、車の中などで長い生活を強いられ、辛抱強く復旧を待っていただいた町民の皆様のご協力に対しまして、深く感謝を申し上げます。第2期であります。笑顔あふれる磐石を再び取り戻すために皆様とともに頑張ってくださいと思います。

磐石町長 遠藤 泰平

ライフラインの一つである水道水については断水状況が続き、大変なご不便をおかけしました。今回の地震では3カ所ある浄水場の中でも中心である旭町浄水場に大きな損傷を受けると共に道路等に敷設されている配水管にも亀裂等が多数生じました。現在は仮復旧の状態で給水していることから完全復旧までご不便をかけることもありますのでご理解をお願いいたします。



全世帯で断水

～約3週間に渡って 水道が断水～

今回の震災により深刻なダメージを受けた町の上下水道施設。地震直後から町内の全世帯で断水し、現在も、旭町浄水場のポンプは、応急処置の状態での運用を余儀なくされています。

断水状態は、約3週間におたって続き、町民の皆様には水がないという、生活の基本を奪われたままでの状態が長く続き、大変ご不便をおかけしております。

水道については、旭町や駅前周辺への給水を担当する旭町浄水場が深刻なダメージを負い、復旧に時間を要しております。また、町内全域を走る水道管の本管及び下水道管にも甚大な被害を及ぼしました。

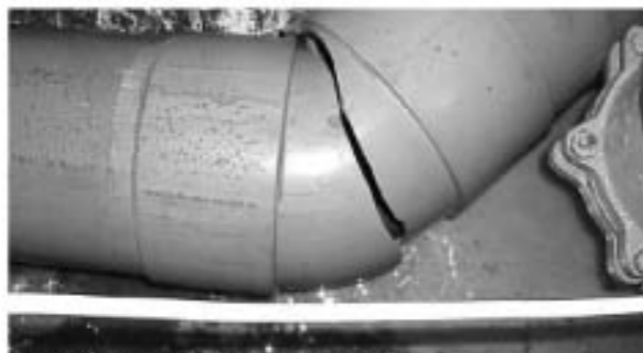
水道については、ほぼ全世帯に給水を開始しています。が、浄水場が不安定な状況での運用のため、町民の皆様には節水へのご協力をお願いします。

また、下水道施設についても、復旧工事を進めている最中で、下水管が詰まりやすくなっていますので、節水へのご協力をお願いいたします。

◎問い合わせ先
上下水道課 ☎62-2119



▲各浄水場でも深刻な被害



▲強い揺れにより割れてしまった水道管



▲新水当初の混乱時には、浄水所で長蛇の列となりました



▲旭町浄水場では夜を徹しての修繕工事が行われました



▲下水の復旧も急ピッチで進められています



▲道路上に飛び出した下水マンホール、町内全域でこのような光景が見られました



▲給水車で各地区を巡回、消防団や区長さんにご協力いただきました



▲地震直後、危険な状態だった道路も、地元事業者の協力により早期に応急的に復旧

写真で見る復旧の様子

大地震直後から、甚大な被害が報告され、町では、早急に復旧に向けて活動を始めました。しかし、これほど大規模な災害は経験がなく、手探り状態での活動となりました。

活動にあたっては、行政区、消防団、ボランティア、町内外の多くの企業の皆様のご協力を頂きました。



▲数に限りがあった支援物資は災害弱者へ重点的に配給



▲風から派遣された専門家による住宅密集地の被害確認



▲水道の復旧に伴い、各地区に拠点となる給水所を設置



▲保護者の有志が、壊れた一小校舎から、子供たちの道具を集めてくれました

被災者生活再建支援制度・り災証明書について

今般発生した、東北地方太平洋地震により多数の住家が全壊等の被害が発生したことから、福島県全域で被災者生活再建支援法が適用になりました。この支援法は今回の災害により生じた、住宅の被害に応じて、国から支援金が支給されるものです。

支給金額は①住宅の被害程度に応じて支給する支援金（基礎支援金：最高額100万円）と②住宅の再建方法に応じて支給する支援金（加算支援金：最高額200万円）の※合計額となります。

この制度で該当となるのは住宅の被害が「全壊」か「大規模半壊」に限られています。被害の程度については、国や県の基準に従って、町で調査を行い「り災証明書」を発行します。申請後、県を通じて（財）都道府県会館（被災者生活再建支援法人）の審査を経て指定の口座へ支援金が振り込まれます。

申請の詳細については、4月中旬を目途にお知らせしますので、申請を希望される方は災害対策本部または税務町民課へお問い合わせください。なお「り災証明書」は、本支援制度以外にも各種制度でも必要になる場合があります。

※支給額については、世帯員が複数か単数かでも区分が違います。

注）住宅の被害が大きく、そのままにしておくに非常に危険なため申請前に家屋を解体する場合は、被災家屋の全景写真及び被害箇所、屋内の様子を詳細にカメラ等で記録しておいてください。また、事業者の家屋の解体証明書を受けて下さい。

問合せ先 災害対策本部 ☎62-2111 ・ 税務町民課 ☎62-2112

住宅について

町では、被災により現在の住宅に引き続き住むことが出来ない方のために、下記のように対策をしております。なお、町営住宅、定住促進住宅については、満室のため入居できません。

- 1) 民間アパートへの入居
民間アパートについては、数に限りがありますのでお早めに各事業所へお問い合わせください。
- 2) 仮設住宅への入居
仮設住宅については、現在、県で候補地を選定し、町内でも1~2か所で建設予定です。入居申し込みや入居条件については後日改めてお知らせします。
- 3) 避難所への避難
町設営の避難所については、町老人福祉センター、町公民館に設置しております。
- 4) 町外等への一時避難
他市町村や他県で、避難する方を受け入れ可能な施設、住居を県で紹介しています。

問合せ先 災害対策本部 ☎62-2111

各種資金の貸付制度について

◇生活福祉資金（緊急小口資金）の特例貸付 ◎問合せ先 社会福祉協議会 ☎62-6428
限度額10万円、対象：今回の災害により被災した町民、所得制限有

◇災害援護資金 ◎問合せ先 総務課 ☎62-2111
限度額350万円、年利3%、償還期間10年間（据置期間3年）
対象：今回の災害により家屋・家財に一定以上の被害を受けた方、所得制限有

◇母子寡婦福祉貸付金 ◎問合せ先 健康福祉課 ☎62-2115
対象：母子家庭の母、寡婦

◇災害復興住宅融資（建設、新築購入、補修） ◎問合せ先 住宅金融支援機構 ☎0120-086-353
対象：災害により住宅が一定以上の被害を受けた所有者、（独）住宅金融支援機構の審査有

この他にも個別にご相談を受け付けます。 問合せ先 総合相談室 ☎62-2111（総務課経由）

「町内の道路の被害状況（特に被害の大きかった箇所）」



▲決壊寸前だった瀧之沢池前の道路（瀧之沢町）



▲五斗崎池付近でも巨大な亀裂により一時通行が不能に（五斗崎町）



▲崖側から大きく崩落した道路（岡ノ内）

東北地方太平洋沖地震災害箇所図



《通行止め箇所》

奥道笠石高架橋（中町・旭町地内）
サカサ池付近（笠石地内）
瀧之沢池付近（瀧之沢町地内）

《路線規制箇所》

五斗崎池付近（五斗崎町地内）、その他
都市公園では前山公園、
鳥見山公園も規制されています。

道路も各地で寸断
今回の震災では、町内の各所の道路でも多くの箇所が、破断しました。現在は、破断による応急処置が行っており、交通規制がある箇所もあります。被害が大きかったのが、下水道マンホールの浮沈によるものと池周辺の道路が崩落したものです。全ての道路の本復旧までには相当の時間が必要となりますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲サカサ池付近で崩壊した道路（笠石町）

※町内全域の道路で被害が出ているので、交通の際は十分注意してください。

▲強い揺れにより破断した笠石の高架橋（中町）



▲地震で陥没した道路が町内のいたる所で見られました。（本町）

福島第一原子力発電所の震災による事故での放射能の影響について



今回の震災で後々まで様々な場面で影響が出る事が予想される福島第一原発の事故。町でも通常より多い放射能が検出されるなど、皆さんも不安に感じている事と想像されます。

現状、町周辺で測定されている水や空気中の値は、基準値より下回っており、直ちに健康に影響が出る値ではありません。皆様には正確な情報を元に冷静な行動をお願いいたします。

一方、県内産の葉物野菜を中心に基準を超える物質が検出されたことから摂取及び出荷を差し控えるよう国で通知されました。これらの野菜等については、摂取しないよう願います。



▲浜通りからの避難者に対して行われたスクリーニング調査(全県基準値内でした)

災害後の健康管理

震災後、すべての町民が大きなストレスを受けています。心身ともに平静さは取り戻せていない時期ですが、避難所で、各家庭で、体調の変化に注意して自分や家族の健康管理に努めましょう。



- 〇うがいや手洗いをまめにいきましょう。できるだけ清潔保持に気を付け、感染症予防につとめてください。
- 〇こまめに身体を動かしましょう。災害後の緊張状態が続き、関節や筋肉が硬くなり血液の循環も悪くなります。意識して身体を動かしましょう。背伸びや深呼吸、手足のマッサージや関節の曲げ伸ばし、ストレッチ体操など。
- 〇適度な水分をとりましょう。(1日1500cc程度)意識して、こまめに水分をとってください。
- 〇食事の注意 食事が不規則になりがちです。菓子類や、甘い飲み物の

- 取りすぎには気をつけましょう。
- 〇歯の健康・気持ちのコントロール 地震のショックにより、精神的に不安定になり、眠れない・イライラが続く・食欲がないなどの訴えがみられます。気持ちも落ち込みがちですが、体を動かすなどして気分転換を図りましょう。特に、お子さんの様子に気をつけてあげてください。
- 〇親の傍から離れなくなつた。表情が少なくなりポツツとしている。

- ・突然興奮したり、おびえたりしている。
- ・吐き気や頭痛、息苦しさを訴えるなど。
- ・子どもが安心できるよう、身体をさすってあげたり、「心配なことがあったら、なんでも言ってね」など声をかけ、できるだけ一人にしないであげてください。
- 〇風邪症状が長引いているみなさんへ 震災後の疲れから、風邪症状が長引き、痰やせきが続いている方は注意が必要です。特に高齢者の方は、高い熱が出ずに肺炎になっていることがあります。

- 〇原発事故による放射能汚染について、特別に注意が必要な場合は、国や県・町からお知らせします。着ち着いて行動しましょう。
- 常によりの備えは大切です。近隣者や親せきなどとこまめに連絡を取り合ひましょう。
- 万一の際の避難先の確保や水・食糧の備え、お薬手帳・保険証など、あらためて確認しておきましょう。

乳幼児健診 予防接種 について

〇3月に実施できなかった3~4ヵ月児健診は、4月20日(水)須賀川市北町会館(公立岩瀬病院東側)で、また、9~10ヵ月児健診は、5月18日(水)に鏡石町保健センターで、それぞれ実施いたします。対象者には、別途通知いたします。

〇3才児健診は、4月13日(水)午後1時15分から2時の受付で、鏡石町保健センターで実施の予定です。

〇子どもの定期予防接種については、各医療機関において平常の診療体制に戻り次第実施になりますので、医療機関へお問い合わせの上接種を受けてください。

〇ポリオ予防接種(集団接種)については、4月21日(木)午後1時15分~午後2時までの受付で、鏡石町保健センターにおいて実施の予定です。

〇子宮頸がん予防ワクチンは、7月以降にはワクチン供給可能の見込みです。

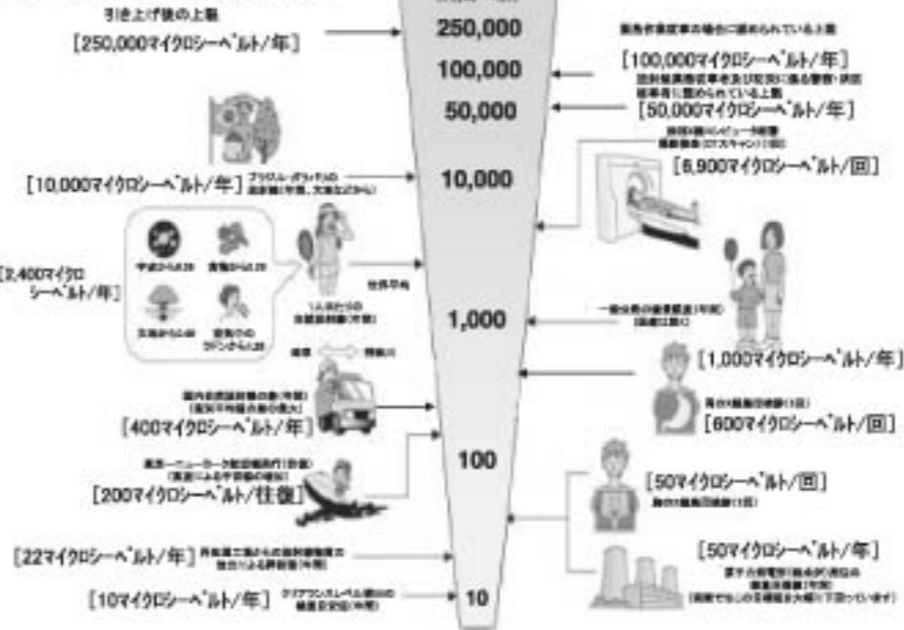
〇ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種について、同時接種も含め、特に安全性上の懸念は認められないと厚生労働省より通知がありました。

接種開始に際しては、今後医師会と協議の上、対象者にお知らせします。

※これらについて変更になった際は別途お知らせいたします。

問い合わせ 健康福祉課…………… ☎ 62-2115

《日常生活と放射線》



※Sv(シーベルト)=放射線の種類による生物効果の定数(※)×Gy(グレイ)※X線、γ線では1質量エネルギー1J(原子力2002)をもとに文部科学省において作成

飲料水の放射性物質

- 〇検出されず (放射性ヨウ素131、放射性セシウム) (乳幼児に対する基準値=100ベクレル)
- 〇測定地/町浄水場3か所
- 〇測定日時/3月22日
- ※シーベルト=人の体が放射線を受けた時の影響を表す単位
- ベクレル=放射性物質が放射線を出す能力を表す単位

- 〇問い合わせ先
- 放射能について
- 福島県防災対策本部原子力班 ☎ 024-521-1917
- 町災害対策本部 ☎ 62-2111
- 農産物について
- 福島県食品生活衛生課 ☎ 024-521-7243
- 産業課…………… ☎ 62-2118

被害家屋の写真

被害にあった家屋は、必ず修繕・取り壊す前に写真に記録しておく...

税務町民課からのお知らせ

固定資産税の納期の延長について
この度の大震災で平成23年度固定資産税第1期分の納期を1ヵ月延長します...

上下水道使用料について

上下水道使用料2・3月分については、震災により納入期限を延期いたします...

町公民館からのお知らせ
社会教育・体育施設(図書館、公民館、鳥見山陸上競技場、鳥見山体育館、構造改善センター、町民プールなど)につきましては、今回の地震の影響により当面の間休館いたします...

福島県議会議員一般選挙 鏡石町議会議員一般選挙について
4月10日(日)執行予定だった福島県議会議員一般選挙と4月24日(日)執行予定だった鏡石町議会議員一般選挙については、今回の震災により選挙を適切に執行できないため、延期されることとなりました...

矢吹原土地改良区 かんがい用水の通水中止について
今回の震災により、矢吹原土地改良区の羽鳥ダムからのかんがい用水水路が甚大な被害を受けたため、通水できないこととなりました...

鏡石町職員人事異動
敬称略(一)は旧所属
異動 4月1日付
総務課 主査 佐藤 浩一
(総務課付福島県派遣主査)
総務課付 主査 福島県派遣 大内 秀人
(都市建設課主査)
都市建設課 主査 館川 佳典
(産業課主査)
産業課 主事 石塚 拓也

たくさんの方から義援金や支援物資を頂いております

今回の震災に際して、町内外から多くの皆さんから多くの支援物資や義援金が寄せられています...



▲様々な方々から多くの物資が届けられました

ボランティア活動

町社会福祉協議会では、今回被災され支援を求めている町民のために3月19日災害ボランティアセンターを立ち上げてボランティアさんを募集したところ、ボランティア団体や一般町民、学生など予想を大きく越える100名近く...

町公民館からのお知らせ
社会教育・体育施設(図書館、公民館、鳥見山陸上競技場、鳥見山体育館、構造改善センター、町民プールなど)につきましては、今回の地震の影響により当面の間休館いたします...

鏡石町災害ボランティアセンター
この欄への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

戸籍の窓

2月受付分

よろこび

Table with columns for region (地区), name (氏名), and age (年齢). Lists names like 深谷 碧斗, 高橋 怜花, etc.

おいわい

Table with columns for region (地区), name (氏名), and age (年齢). Lists names like 橋本 新一, 小林 由幸, etc.

かなしみ

Table with columns for region (地区), name (氏名), and age (年齢). Lists names like 小泉 辰吉, 渡邊 ヨシ子, etc.

この欄への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

Table showing fire and disaster statistics (火災・救急事故) for H23.2.28. Includes counts for fires, emergencies, and water damage.

Table showing traffic accident statistics (交通事故) for H23.2.28. Includes counts for accidents, deaths, and injuries.

Table showing population and household statistics (人口と世帯数) for H23.3.1. Includes counts for population and households.

お知らせ
今月号でご紹介した、各種の数値や制度の案内については、原簿作成時の3月31日現在のものです...

復興に向けて

東北関東大震災
東北地方太平洋沖地震



▲一小卒業式で使うはずだった花束



▲山と積み上げられた瓦礫が被害の大きさを物語る



▲陥没した駅切符売り場で皆さんの助けになればと営業を続けた店



▲震災に負けずがんばろうというメッセージに励まされる



▲多くの協力企業が復旧のため重機とともに奔走しました



▲カップ麺だけど、みんなで食べればごちそうと明るい笑顔

東北地方を襲った未曾有の大災害、その爪痕は鏡石町にも大きく影を落としていた。しかし、この甚大な被害の中でも笑顔で生活する皆さんがいた。

この笑顔がある限り町はまたいつか、元気になれると確信している。

(分析広報記者)

被災後の町内の様子取材する中で、多くの町民の方が「この辺は大きい災害なんてないと思っていたの」と話していた。

町としても、従前からこのような大災害に対して万全の体制であったかという点、疑問が残るのも事実である。

マグニチュード9.0、震度6強。これまで経験したことのない強く長い揺れを体験し、周囲を見渡して愕然とした。波打つ道路、倒壊した壁や家屋、崩落した崖。町内の全3,900世帯で、実に3割以上の家屋が被災していた。これは、浜通りの津波の被害を除けば、県内でも1、2の被害割合だ(広報発行時)。また、ライフライン、特に水道網が深刻なダメージを負い、未だに本復旧には至っていない。



広報かがみいし4月号

発行/福島県鏡石町役場
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345番地
電話/0248(62)2111(代表) URL/http://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/
編集/総務課 印刷/トキワ印刷株式会社

この広報紙は適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙を使っています。FSC認証紙は、適切に管理された森林の木材を原料としており、バランスの取れた「植林→育成→伐採→植林」のサイクルを通じて森林保全を行っています。

